

在宅取組型（保育園）

学校名等	飛騨市 宮川保育園
実施期間	平成28年6月～平成29年3月
会場	自宅
参加人数	園児(4名)・保護者
学習課題(分野)	きらりカードによる「わが家の約束」運動
運営者の願い	わが家の約束づくりを行い、取り組むことで、親子・家族での語り合いを、日々の生活の中の習慣にし、関わりを深めてほしい。



達成感が味わえるようにした約束決め
 難しい約束ではなく、無理なく取り組めることを、第一に大切にしました。
 プラスの評価になっていくことが、心の通った家族のコミュニケーションにつながった。



約束カードの工夫
 約束を書いた『きらりカード』を園の先生がラミネート処理をすることで、家庭に掲示し、長期にわたって取り組めるようにした。
 また、カードを自分で手作りしたことで、約束事を意識し大切にする姿が見られた。



- * おかあさんがせんたくものをたたむとき、いっしょにたたみたいですよ。
- * にいちゃんとけんかをしない。
- * 家族みんなで早寝早起きをする。
- * 自分のちゃわんをかたづける。



取組を価値づけ、取組に寄り添う通信
 在宅取組が無理なく続けることができるように、「園だより」による時々の呼びかけや励ましを大切にしました。

取組の内容

<取組に至るまで>

園長先生が、家庭教育学級リーダー研修会に参加された際に、他園の在宅における家庭教育の取組のよさを感じられ、自園の取組に生かすことを考えられました。そのよさを保護者会で伝えると共に、「わが家の約束」運動を提案し、その後は、幼児学級委員さんが中心になり取組が始まりました。

<取組の工夫>

- ① 約束事は親だけで決めることなく、親子で話し合って決めるようにした。
- ② 約束への取組を無理なく意識的に続けられるように、チェック形式ではなくポスター形式にし、園児自らが作成した。
- ③ 「きらりカード」の約束を夕飯時などに意識的に話題にし、いい姿を家族みんなで褒めるようにした。
- ④ 生活習慣の約束については、家族も一緒に取り組めるように関わった。
- ⑤ 取組の経過やよさを、全保護者が共有することができるように、「園だより」による呼びかけを継続した。

<取組の成果>

家庭教育は、親や家族が意識せずとも関わっていることですが、“家庭で考え取り組むことこそ大切”という意識の向上と家族間のふれあいを願っての、園長先生の投げかけに応えた家庭内の取り組みの中で、園児それぞれの成長した姿が見られました。

「にいちゃんとけんかをしない」ことを約束にした園児は、“けんかをしない遊びにする”という、そのためにできることを自ら考え、親は、“嫌なことを言われても言い返さない”という一つの解決策を教え、さらに祖母は、“けんかしそうになったらその場を離れる”というように、きょうだい仲良くする術を教えるという関わりが広がっていきました。

また、約束事を掲げ継続して取り組むことで、家族みんなの健康生活につながったり、また、お手伝いの幅が広がったりするという波及効果が多く見られました。

<保護者の感想>

- ・子どもが早寝早起きをすることによって、家族みんなで心がけるようになりました。
- ・「わが家の約束」として続けてきたことが、習慣になり嬉しく思います。「継続は力なり！」を実感しました。
- ・子どもが決めた約束を頑張らせるためには、親が手を出さずに見届けることが大切だと思います。
- ・約束で決めた以上のお手伝いに気付くようになり、たくさんのお手伝いができるようになりました。



